

平成28年度岡山ESD推進協議会
岡山ESDプロジェクト活動支援助成金事業報告書

事業名 第8回岡山高校生会議／第9回岡山高校生会議

団体名 岡山高校生会議

担当者名 山崎 穂

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

<第8回岡山高校生会議>

1 事業の名称 第8回岡山高校生会議

2 会期 平成28年6月19日(日) 10:00~16:30

3 会場 岡山市民会館4階会議室

4 参加者数 大人 36人

高校生 23人

中学生 2人

講師 4人

その他 取材

5 内容

○司会

・中村 颯真（岡山高校生会議 副代表 岡山理科大学附属高校1年）

(1) アイスブレイク（10:00~10:50）

○テーマ「もし自分が総理大臣になったら中高生のためにこんな政策をたてる！」

(2) 第1部 パネルディスカッション（11:00~12:30）

○テーマ『『政治』、『選挙』について学ぶ』

○パネリスト

・県議会議員

青野 高陽（自民党）

笹井 茂智（公明党）

高橋 徹（民進党）

須増 伸子（共産党）

○コーディネーター

・平田 活己（岡山高校生会議 副代表 明誠学院高校2年）

(3) 講話

○石破 茂地方創世担当大臣

○衆議院議員 山下 たかし（自民党）

(4) 第2部 政策立案ゲーム（13:30~16:00）

(5) まとめ（16:00~16:30）

○総評

・松田 はるか（岡山高校生会議 前運営 岡山県立岡山城東高校 3年）

○閉会挨拶

・勝村 岳世（岡山高校生会議 創始者 香川大学工学部 3 回生）

<第 9 回岡山高校生会議>

1 事業の名称 第 9 回岡山高校生会議

2 会期 平成 28 年 11 月 27 日(日) 10:00~16:30

3 会場 岡山市民会館 4 階会議室

4 参加者数 大人 7 人

高校生 21 人

中学生 4 人

講師 2 人

5 内容

○司会

・中村 颯真（岡山高校生会議 副代表 岡山理科大学附属高校 1 年）

・日笠 龍太郎（岡山高校生会議 会計 岡山理科大学附属高校 1 年）

・松本 隆志（岡山高校生会議 運営 岡山理科大学附属中学校 3 年）

○閉会挨拶

・真壁 弥里（岡山高校生会議 副代表 明誠学院高校 2 年）

(1) アイスブレイク (10:00~10:30)

○テーマ「Let's 身近で CM！」

(2) CM 作り (10:30~16:00)

○テーマ「岡山県の魅力を他県に発信しよう」

○CM の構成の仕方、使用する動画についての説明

・一般社団法人日本ドローンビジネスサポート協会

石原 啓佑（株式会社 Riccio 代表取締役）

植松 鷹矢（株式会社 Hawks 代表取締役）

(3) まとめ (16:00~16:30)

○総評

・田中 康信（公益社団法人日本青年会議所中国地区岡山ブロック協議会 前会長）

○閉会挨拶

・山崎 穂（岡山高校生会議 代表 岡山理科大学附属高校 2 年）

2. ESD の視点を取り入れたところ、ESD の視点で見直したところ

このイベントがきっかけとなって、これからも岡山高校生会議をうんえいし続けていけるような頼もしい後輩たちが入ってきた。

代が変わった後も、後輩たちが引き続きさまざまなイベントを開催し、いつまでも岡山県内の高校生がお互いに関わり合う場となるような岡山高校生会議は続いていくと思う。

3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）

＜第 8 回岡山高校生会議＞

テーマが「政治」や「選挙」であったため、参加者が難しく捉えすぎて、盛り上がらないという結果になることを心配していたが、意外にも、盛り上がっていた。参加する前は「政治や選挙についてほとんどなにもわからないし、あまり興味もない。」と言っていた高校生が「政治や選挙に興味を持てたし、もっと知ろうと思った。楽しかった。」と参加後に言ってくれた。当初の「政治や選挙は難しいものではないということを知り、興味を持ってもらい、投票に行ってみようという意志を持ってもらう」という目的が達成された。非常に大きな成果があったと私は感じている。

＜第 9 回岡山高校生会議＞

今回は、前回と違い、自分にとって身近である「岡山県」をテーマにした。岡山県の魅力を発信する CM を作るにあたって、今まで岡山県に住んでいた自分と他県から移り住んできた大人との感じ方、考え方の違いにギャップがあることに驚いた。自分たちが魅力的だと思っていることはもちろん、県外から見た岡山の魅力も理解して、アピールができるようになったらもっと良いと思った。

4. 今後の課題と展望

代が変わり、高校 2 年生は運営から外れ、新しいメンバーとなった。まだ引き継いだばかりで、慣れないことも多いが、新高校 1 年生や中学生の運営メンバーを増やし、先輩たちが主体となって開催したイベント以上に盛り上がりのあるイベントをこれからも開催していきたい。